

井の頭恩賜公園花便り



サルスベリは中国南部原産で、樹高3～10mほどの落葉樹です。その美しさから庭木や街路樹、公園樹として広く親しまれています。
 多くの樹木が一齐に開花するのに対し、サルスベリは新梢（しんしょう）を伸ばしながら7～9月にかけて次々と花芽をつけます。ピンクや白の花が100日近く咲き続けるため、「百日紅（ヒャクジツコウ）」という呼び名もあります。
 成長すると淡褐色の古い樹皮が剥がれ落ち、白く滑らかな幹が現れるのも特徴です。そのつるつるした様子が「猿も滑り落ちそう」に見えることから「サルスベリ」という和名がつけました。樹皮が剥がれた後の美しいまだら模様は、花のない時期でも造形美を楽しむことができます。



花便りに関するご質問は、井の頭恩賜公園案内所（Tel0422-47-6900）までお問い合わせください